

6月4日から10日は歯の衛生週間です

虫歯はうつる？ 虫歯は感染症

子どもを虫歯から守るためには、家族みんなの協力が必要です。
虫歯について家族みんな考えてみましょう。

虫歯とは？

虫歯とは、口の中の虫歯菌（主にミュータンス菌）が、食べ物の中の糖分を分解して酸を作り出し、その酸によって歯が溶け出すことで始まります。

ですから、虫歯菌がいるからといってすぐに虫歯になるわけではありません。また、虫歯菌がうつったからといってあきらめないでください。歯磨きをしっかりする、糖分の取り方に注意する、フッ素を塗布するなど虫歯予防に努めてください。

虫歯はうつる

「虫歯はうつる」ということを知っていますか？



虫歯とは？

「この子は、私によく似て歯が弱く虫歯が多くて大変、本当に悪いところばかり似て……」というような話を時々耳にすることがあります。本当だと思いますか？虫歯が遺伝することはありませんが、虫歯が家族から子どもにうつっているのです。

生まれたばかりの赤ちゃんの口の中には、虫歯菌はいないのです。では、いったいどこからやってきて住み着いてしまうのでしょうか。それは、乳歯の生え始めから三歳ごろまでの間にスプーンなどに付いた唾液を介して、家族から感染してしまうのです。

子どもを虫歯菌に感染させないためには

子どもと長く接するお母さんだけでなくお父さん、おじいさん、おばあさんなど子どもと接する皆さんが、自分自身の口の中を清潔にしておくことに心がけてください。家族の人の口の中の虫歯菌の数を減らすことから努力しましょう

口でかみ砕いて柔らかくした物を与えたり、口移しであげることは絶対に止めましょう
一緒のはしやスプーンで食べさせるのは止めましょう

まずは自分の口から

家族みんなが口の中に虫歯や歯周病が



あつてはいけません。まず、歯科健診を受けて治療しましょう

口の中を清潔に保つには、正しいブラッシングができなくては保てません。歯医者さんで正しいブラッシングを覚えてもらうのも必要です

痛みなどの症状がなくても虫歯や歯周病が発症、進行していることがあります。早期に見出し、予防処置、保健指導、治療を受けることによって口の健康を維持できます

問合先 健康増進課